《ふるさとニュース》

●網走市の2015年度「ふるさと寄付」は1万6029件、5億9331万円に達した。同制度は一般に「ふるさと納税」とも呼ばれ、寄付額の一部が所得税と住民税から控除される。寄付額に応じて返礼品として地元特産品が贈られることもあって昨年導入時目標の2千万円をあっという間に突破した。返礼品の一番人気は「いくら醤油漬け」。

●網走市の15年度除雪対策費は、過去10年の平均3億9654万円を上回る4億5155万円となった。今冬は過去2年のような度重なる暴風雪に見舞われなかったが、11月末に当月としては記録的な大雪が降ったほか、1月19日と3月1日に暴風雪に見舞われた。

●国土交通省が発表した16年の公示地価によれば、網走市の住宅地は1平方メートル当たり1万1千円で前年比マイナス1・9%、商業地は　2万9千円でマイナス3・9%。地点別では、住宅地は北9西2が2万600円でマイナス3・9%。商業地は駒場南7―2が3万8千円でマイナス0・3%だった。全用途平均は1992年以降、25年連続の下落になった。

●釧路税関網走出張所はこれまで2人体制で業務に当たってきたが、外国貿易船の入港減に伴う業務量の低下などを理由に7月1日から無人化（非常駐化）された。今後業務量が拡大すれば再度、職員を配置する見通しだが、道内税関出張所の無人化は近年初。

●網走市は熊本地震の被災者に対する支援として300万円の義援金を贈った。

●網走を中心とする東オホーツクの魅力を紹介する「OKHOTSK EAST ERN HOKKAIDO」がJAL国際線機内で4月から9月末まで上映。12分30秒にわたる英語字幕付きの動画で網走関連ではオホーツク流氷館、博物館網走監獄などの観光施設やオロチョンの火祭りが紹介されている。

●網走川沿いのにぎわいを創出する市の計画「網走かわまちづくり」が国交省の「かわまちづくり支援制度」に登録。同計画は川とまちが一体となった観光振興や親水空間の創出を市民と市、河川管理者が協働で取り組むもので市は昨年10月、市民の代表などによる検討委を立ち上げていた。すでに道内10カ所が登録されており、網走市は11カ所目。

●道開発局の「北海道道の駅ランキング」で網走市内の道の駅「流氷街道網走」が地域や観光の情報提供が充実していたと感じた道の駅TOP10」の3位になった。その一方で「トイレがきれいだと感じた道の駅」は前回の7位から3ランクダウンして10位に。

●昨年8月にリニューアルした「オホーツク流氷館」の入館者数が7月17日午前に20万人に達し、入館者の北大大学院生らのカップルに記念品が贈られた。

●網走の冬の風物詩「網走湖のワカサギ釣り」（呼人浦）に今シーズンは前年比の19・8%増の1万3300人が参集し北国ならではの釣りを楽しんだ。近年、旅行番組などでも取り上げられる機会が多くなったため、海外からのツアー客が増加した。

●第70回を迎えた夏の一大イベント「あばしりオホーツク夏まつり」が7月21日から4日間にわたって挙行。過去最大規模の花火大会をはじめ、市民参加の流氷おどりや音楽大行進などで賑わった。

●豪華客船の寄港地として人気の高い網走港にこの夏は日本最大の「飛鳥Ⅱ」（郵船クルーズ）と「ぱしふぃっくびーなす」（日本クルーズ客船）がそれぞれ6月17日と9月に寄港。「飛鳥Ⅱ」の寄港は4年ぶり。

●網走市能取湖サンゴ草再生協議会は7月15日、16年度の第1回幹事会を開催、群落地の生育環境が改善しつつあることを確認。さらに再生に向けた調査・研究活動や土砂除去などの事業を継続していくことを決めた。昨秋にはすでに往年の光景を取り戻すほど群落地が赤く染まったため「サンゴ草復活宣言」を発表している。

●日本体育大学が網走市に来春開校予定の附属高等支援学校（仮称）の建設工事が完了、5月30日に竣工式が行われた。同校は11年3月に閉鎖された旧網走高等技専校舎と職業能力開発センターを改築したもので、併せて鉄骨造3階建ての寄宿舎を渡り廊下でつないでいる。7月下旬には高橋道知事が視察し「素晴らしい学校ができた」と期待感を示した。

●地域の神経医療中核病院「道立向陽ヶ丘病院」の新病院庁舎が完成、6月20日から新施設での診療を開始。鉄筋コンクリート造4階建て、延べ床面積6188平方メートルで96年増設したディケア棟と接続されている。

●東農大網走は本年度より大学創設者の榎本武揚のチャレンジ精神やスピリット精神を受け継ぐリーダーを育成するため、「榎本武揚フロンティア塾」を開設。初年度は1年生30人が入塾し、特別講師陣の講義やワークショップ、イベント参加などを通じて所期の目的の達成を目指す。

●網走市教委は小学1～3年生の土曜日学習をサポートするため「網走寺子屋」を市エコーセンターで開設。会場には市教委が用意した学習プリントが学年別、教科別に置かれ、児童はその中から選んで学習できる。わからないことにはサポートの教諭や農大生が対応し学力向上に役立てている。

●日本ラグビーフットボール協会とラグビートップリーグが取り組んでいる環境保全活動「TRYforGREEN」の植樹地に網走が8年連続で選ばれた。2015―16年シーズンは765トライ分の153万円が積み立てられ、うち網走市の植林活動と森林保全活動に103万円が贈られた。

●まちを舞台に網走の味覚を楽しむ「オホーツク屋台村」が流氷まつりに合わせて2月11日から3日間、場所をラルズ跡地に移して開催。炭火の焼き台を設置した魚介類や焼き肉を楽しんだほか、ビールや焼きたてかまぼこなど、地場産品を提供する13店が出店した。

●網走ビールは地元産の小麦を使った発泡酒「ABASHIRI White Aie」を3月7日に発売。大麦麦芽と麦芽化していない小麦で醸造したもので、ベルギーのビール酵母「ベルジャン酵母」を使うことで、まろやかさとフルーティーな味を出している。350ミリリットル缶で280円（税別）。

事務局より

●昨年の返信はがきによる抽選では、5名の方にオホーツクの幸を送りました。今年も5名にお送りいたします。

●昨年の総会・懇親会は参加者130名余り。網走からは名誉会長水谷洋一市長、山田庫司郎市議会議長、佐々木玲子副議長はじめ市議会議員、市商工会議所、市職員が多数見えられました。

●ニュースのまとめに当たっては「網走タイムズ」を参考にしました

●網走出身者のお店

スナック　92　（ナインツー）

坂東一泰（南ケ丘43年卒）

新宿区歌舞伎町2丁目20番6号

第2本間ビル5階

電話　03―5272―7212